

平成23年度 鹿児島大学工学部 編入学学生募集要項

○推薦による選抜

○学力検査による選抜

鹿児島大学工学部

郵便番号 890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号

電話 099-285-8232

鹿児島大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 鹿児島大学の教育目標

鹿児島大学は、国際的視野にたった幅広い教養及び専門的知識・技能を身につけるとともに、深い歴史認識や鋭い現実感覚、そして高い公共意識に裏づけられた判断力と実践能力をもった社会人の育成をめざします。

特に、学生が地域社会の問題に果敢に取り組むことにより、失敗を恐れないチャレンジ精神と具体的構想力を向上させること、すなわち、「現場主義と創造的チャレンジ精神」を重視して教育を行います。

2 鹿児島大学が求める学生像

鹿児島大学は、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

工学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

鹿児島大学の教育目標を受けて、工学部では次のような人材の育成を目標としています。

1. 自然科学と工学の基礎知識および専門技術科目を幅広く修め、社会が要請する新技術を創成することのできる研究者・技術者
2. 新産業分野の開拓に積極的に貢献できる創意と応用力をもった技術者
3. 幅広い分野の知識の修得と総合的思考力の養成を通じて、工学のもつ地球的・社会的影響力の大きさを自覚できる技術者
4. 高い倫理観をもって人類の幸福と福祉に貢献できる専門的職業人

このような観点から、工学部では次のような学生を求めています。

1. 工学部の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲をもつ人
2. 人類の福祉ならびに社会の持続的発展に自主的、継続的に取り組む意志と能力をもった人
3. 自らの教養をより高めようとする努力を惜まず、国際的視野の多様な価値観を大切に
する人
4. 大学で獲得した専門知識を基礎にして、専門職業人として高い倫理観をもって社会に貢献
することをめざす人

各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【機械工学科】

機械工学科は、数学・物理などの理科系科目の学力を基礎に機械工学を学び、さらには豊かな創造性、倫理観、多様な価値観といった教養を獲得し、もって国際的に活躍し、かつ私達の社会の持続的発展に貢献しようとする熱意と能力をもつ学生を求めています。

編入学では、機械工学の勉学に意欲と熱意をもち、それに加えて、推薦による選抜では、高等専門学校における成績が特に優れた学生を、また、学力検査による選抜では、数学と機械工学における専門科目の基礎的な能力をもつ学生を求めています。

【電気電子工学科】

電気電子工学科は、人類の幸福と福祉に供するという視点から物事を多面的に考える能力をもち、電気・電子・情報通信の分野における調和のとれた発展に関心をもった、向学心、研究心あふれる学生を求めています。

それに加えて、編入学の推薦による選抜では、高等専門学校における成績が特に優れた学生の入学を、また、学力検査による選抜では、数学と電気電子工学における専門科目の基礎的な学力をもつ学生の入学を希望します。

【建築学科】

建築の役割は、個々の建物から都市までを対象として、学術と技術と芸術の3つの面を融合して、人々に快適な空間を創ることです。建築学科では、科学と芸術と社会の広い分野に関心を持ち、1) 建築を造りたいという情熱を持っている人、2) 建築と人間や社会や環境との関係に興味がある人、3) 建築デザインの分野で能力を生かしたいと考えている人、4) 安全で美しい建築を造る技術に関心のある人を求めています。

編入学では、建築系を専攻している志願者と、建築系を専攻していない志願者に分けて求めています。建築系を専攻している志願者では、特に、建築に関する基礎知識を有している学生を求めています。建築系を専攻していない志願者では、特に、建築への情熱と、建築の考え方を理解できる能力を有している学生を求めています。

【環境化学プロセス工学科】

環境化学プロセス工学科では、環境やエネルギーの問題解決につながる化学技術を使ったシステムのデザインができる技術者・研究者の育成をめざしています。そのため「環境と調和した化学プロセスの開発」、「エネルギーなどの資源を有効利用するシステムの構築」さらに「高度な機能をもつ材料の創製」に関する広範囲な教育研究を行っています。将来、人類の幸福と福祉に貢献できる人材として、科学の基礎知識を習得しただけでなく、それらを実際に活かすための工学の知識、環境問題への使命感や健全な倫理観を身につけた技術者・研究者を育成することを教育目標としています。

この目標を達成するために、化学、物理、数学についての基本的な能力を有している次のような学生の入学を希望します。

- (1) 科学の基礎知識と倫理観を身につけ、環境と調和した社会の創出に貢献したい人
- (2) 人類社会に貢献するために大学で学んだ専門知識を活かしたい人
- (3) コミュニケーション力や調和性を高め、世界を舞台として、さまざまな問題を解決したい人
- (4) 工学技術を身につけ、研究開発で得た成果によって地域社会へ寄与したい人

【海洋土木工学科】

海洋土木工学科は、海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する知識と判断力を有する人材の育成をめざしています。本学科では、土木工学・海洋工学が社会に果たす役割について、地球的視点から多面的に考える能力を有し、国土・海洋の開発と自然環境との持続的調和に関心のある学生を求めています。

土木系を専攻している編入生については、土木工学に関する基礎知識を有し、海洋土木工学への強い興味と学習意欲のある学生の入学を希望します。土木系を専攻していない編入生については、土木工学・海洋工学を学ぶうえで必要な基礎知識、基礎学力を有し、海洋土木工学への興味と学習意欲のある学生の入学を希望します。

【情報生体システム工学科】

高度情報化社会を支える情報システムは、人と環境に優しい社会を実現するために様々な課題を課されています。これからの情報・生体関連技術者及び研究者は情報工学の知識および応用力はもちろんのこと、人間の認知過程や生体システムの本質も理解してシステム構築を行うことが求められます。これに加え、良いシステムを作るには倫理的判断力を持って多くの人と積極的な意見交換を行い、自分の考えを論理的に説明し、他者の考えを柔軟に取り入れることが不可欠です。情報生体システム工学科ではソフトウェア工学、情報システム工学、脳認知工学、生体計測工学に関連する教育を行います。そこで、この分野に関心を持ち、何事にも柔軟な発想で積極的に取り組める学生を求めています。

編入学の推薦による選抜では高等専門学校において特に成績が優秀な人の中から、学力による選抜では学科を問わず基礎的な学力を有する人の中から、上記の分野に興味を持ち、積極的に勉学に取り組む学生を求めています。

【化学生命工学科】

化学生命工学科は、化学の知識を役立てることにより、地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。このため本学科では、新物質や機能材料、バイオテクノロジー、分析や分子計測、医薬や医用材料、環境保全やエネルギーなどに興味をもち、広範な視野と柔軟性を備え、積極性に富む学生を求めています。

編入学では、有機化学、分析化学、物理化学、高分子化学、生物化学などの化学の勉学に意欲と熱意をもち、高い基礎学力を有する学生を求めています。

目 次

募集する学科等	1
推薦による選抜	2～4
学力検査による選抜	5～7
編入学後の履修について	8
注 意 事 項	9
障害のある入学志願者の事前相談	10
入 学 手 続	11
入試情報開示	12

入学者選抜実施日程

出 願 期 間	平成22年 5 月10日(月)～ 5 月12日(水)
選抜試験実施日	平成22年 5 月26日(水)
合 格 発 表	平成22年 6 月 4 日(金)

※編入学生募集要項の請求

郵便で募集要項を請求する場合は、返信用封筒（角形2号封筒に200円切手を貼り，受信者の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）を同封し，下記宛に請求してください。

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学 工学部 学生係

《募集する学科等》

各学科は、下記のとおり、推薦による選抜及び
学力検査による選抜を行います。

学 科	募集人員	編入年次	対 象 と な る 学 科	
			推薦による選抜 (高等専門学校のみ)	学力検査に よる選抜
機 械 工 学 科	20人	3年次	機械系学科	出身学科を 問わない
電 気 電 子 工 学 科			電気・電子・情報系学科	
建 築 学 科			建築系学科	
環境化学プロセス工学科			化学工学・化学系学科	
海 洋 土 木 工 学 科			土木工学科・建設工学系学科	
情報生体システム工学科			情報・電気・電子系学科	
化 学 生 命 工 学 科			化学・生物系学科	

(注) 各学科の修学に必要な専門科目を履修していない志願者は、編入年次が2年次になることがあります。

推薦による選抜

1. 出願資格

高等専門学校を平成23年3月卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、学校長が学力・人物ともに優秀で、健康状態が良好と認め、責任をもって推薦できる者
また、合格した場合入学を確約できる者

2. 出願期間

平成22年5月10日(月)～5月12日(水)

受付時間は、9時～12時、13時～16時

郵送の場合も5月12日(水)16時までに必着とします。

3. 出願手続

(1) 出願方法

学校長は、出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を利用し、「書留速達」郵便で送付してください。

(2) 出願に要する書類等

書 類 等	摘 要
編 入 学 志 願 票	本学所定の用紙を使用すること
推 薦 書	本学所定の用紙により出身学校長が作成、厳封したもの
調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したもの
成 績 証 明 書	修得した科目と単位数が明記されており、最終学校長が作成し、厳封したもの ただし、 <u>単位修得見込みの科目欄に○印をつけること</u> (高等専門学校へ編入した学生については、高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること)
写真票・受験票	出願前6ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと(上半身、脱帽、正面、縦5cm×横4cm)
入 学 検 定 料	30,000円を入学検定料払込書(朱書)により郵便局から振込み後、【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】を所定の台紙に貼付して出願すること。 振込期間：平成22年4月30日(金)から平成22年5月12日(水)
宛 名 シ ール	この要項に折り込まれているシールに氏名、住所及び郵便番号を記入すること
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、350円切手を貼付のこと(受験票等の送付用)
そ の 他 (該 当 者)	日本国籍を有しない者は、市区町村長の発行する外国人登録済証明書(在留資格が明示されたもの)を提出すること

(注意) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)の制定に伴い、出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については、入学者選抜・合格発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためのみ利用し、他の目的には使用しません。

(3) 出願書類提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係 [電話] 099-285-8232

4. 選抜方法

学校長からの推薦書，調査書，成績証明書，面接及び小論文の結果を総合して判定します。

ただし，機械工学科，電気電子工学科，環境化学プロセス工学科，化学生命工学科の志願者については，小論文は課しません。（配点等については，下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。）

(1) 選抜方法に関する配点

学 科	推薦書・調査書	成績証明書	面 接	小 論 文	総合得点
機 械 工 学 科	30	30	40		100
電 気 電 子 工 学 科	30	30	40		100
建 築 学 科	30	30	40	100	200
環境化学プロセス工学科	30	30	40		100
海 洋 土 木 工 学 科	30	30	40	100	200
情報生体システム工学科	30	30	40	100	200
化 学 生 命 工 学 科	30	30	40		100

(2) 面接の方法と評価事項

学 科	面接の形態		面接時間	評 価 事 項
	面接種類	面接員数		
機 械 工 学 科	個人面接	6名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
電 気 電 子 工 学 科		6名	15分	基礎学力，学習意欲，適性について評価する。
建 築 学 科		5名	10分	学習意欲，目的意識，適性について評価する。
環境化学プロセス工学科		5名	15分	基礎学力，学習意欲，目的意識について評価する。
海 洋 土 木 工 学 科		5名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
情報生体システム工学科		5名	10分	勉学意欲，勉学遂行のための能力と知識，コミュニケーション能力と態度について評価する。
化 学 生 命 工 学 科		6名	10分	基礎学力，学習意欲，目的意識と適性などについて評価する。

注) 受験者数などにより「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。

(3) 小論文の評価事項

小論文は高等専門学校までに習った関連の専門科目等を基礎に「各専門を学ぶうえで必要な常識的事項，あるいは各専門分野におけるトピック的なもの」を課します。

5. 面接・小論文の日時・場所

期 日	学 科	検査科目	時 間	集合時間	場 所
平成22年 5月26日(木)	機 械 工 学 科	面 接	9:00～	8:40	工学部 (共通棟入口の掲示 板で確認 すること)
	電 気 電 子 工 学 科	面 接	9:00～		
	建 築 学 科	小 論 文 面 接	11:40～12:30 13:30～	11:20	
	環境化学プロセス工学科	面 接	9:00～	8:40	
	海 洋 土 木 工 学 科	小 論 文 面 接	9:00～10:00 11:00～		
	情報生体システム工学科	小 論 文 面 接	9:00～10:00 11:00～		
	化 学 生 命 工 学 科	面 接	9:00～		

6. 合格発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合否結果を本人宛通知します。なお、合否結果は出身学校長にも別途通知します。（電話・電報等による合否の照会には一切応じません。）

平成22年6月4日(金) 13時30分

また、鹿児島大学工学部ホームページ (<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格状況を掲載します。

学力検査による選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は学士の学位を有する者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 理工系短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (3) 外国において、前記(2)と同程度以上の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者に限る。）及び平成23年3月修了見込みの者

2. 出願期間

平成22年5月10日(月)～5月12日(水)

受付時間は、9時～12時、13時～16時

郵送の場合も5月12日(水)16時までまでに必着とします。

3. 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を利用し、「書留速達」郵便で送付してください。

(2) 出願に要する書類等

書 類 等	摘 要
編 入 学 志 願 票	本学所定の用紙を使用すること
成 績 証 明 書	修得した科目と単位数が明記されており、最終学校長あるいは学部長が作成し、厳封したもの 平成23年3月卒業見込みの者は単位修得見込みの科目欄に○印をつけること (高等専門学校へ編入した学生については、高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること)
写 真 票 ・ 受 験 票	出願前6ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと (上半身、脱帽、正面、縦5cm×横4cm)
入 学 検 定 料	30,000円を入学検定料払込書（朱書）により郵便局から振込み後、【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】を所定の台紙に貼付して出願すること。 振込期間：平成22年4月30日(金)から平成22年5月12日(水)
宛 名 シ ー ル	この要項に折り込まれているシールに氏名、住所及び郵便番号を記入すること
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、350円切手を貼付のこと (受験票等の送付用)
卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	出身学校（又は在学）所定のもの
そ の 他 (該 当 者)	日本国籍を有しない者は、市区町村長の発行する外国人登録済証明書（在留資格が明示されたもの）を提出すること 現在、在職中の者は、所属長の受験許可書（様式は随意）を提出すること

(注意) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の制定に伴い、出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については、入学者選抜・合格発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためのみ利用し、他の目的には使用しません。

(3) 出願書類提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係 [電話] 099-285-8232

4. 選抜方法

学力検査及び面接等の結果を総合して判定します。(配点等については、下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。)

(1) 選抜方法に関する配点

学 科	検 査 科 目	学 力 検 査					面接等	総合 得点
		専門教育科目	基礎教育科目	一般教養科目	小論文	小計		
機 械 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	200	200	/	/	400	100 (注2)	500
電 気 電 子 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	300	100	/	/	400	100	500
建 築 学 科	建築系を専攻している志願者(注1) 専門教育科目	400	/	/	/	400	100	500
	建築系を専攻していない志願者 一般教養科目 小論文	/	/	200	200	400	100	500
環境化学プロセス工学科	専 門 教 育 科 目	400	/	/	/	400	100 (注2)	500
海 洋 土 木 工 学 科	土木系を専攻している志願者 専門教育科目	400	/	/	/	400	100 (注3)	500
	土木系を専攻していない志願者 基礎教育科目 小論文	/	300	/	100	400	100	500
情報生体システム工学科	専門教育科目及び基礎教育科目	400		/	/	400	100	500
化 学 生 命 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	400		/	/	400	100	500

(注1) 土木系の学科またはこれに準ずる学科で建築に関する専門教育を受けた者は建築系を専攻している志願者としても受験することができます。

(注2) 機械工学科と環境化学プロセス工学科では、面接が50点、成績証明書50点の100点満点で評価します。

(注3) 海洋土木工学科では、面接に加えて成績証明書により総合的に判断し、100点満点で評価します。

(2) 学力検査科目

学 科	検 査 科 目	内 容	
機 械 工 学 科	専 門 教 育 科 目	材料力学, 工業熱力学, 水力学, 機械工作法の中から2科目を選択する	
	基 礎 教 育 科 目	数学(注1)	
電 気 電 子 工 学 科	専 門 教 育 科 目	電気磁気学, 電気回路学	
	基 礎 教 育 科 目	数学(注1)	
建 築 学 科	建築系を専攻している志願者 専門教育科目	構造力学, 建築計画及び環境工学	
	建築系を専攻していない志願者	一般教養科目	英語, 数学, 力学の基礎的問題
		小 論 文	建築を学ぶ上で必要な常識的事項, あるいは建築分野におけるトピック的な問題
環境化学プロセス工学科	専 門 教 育 科 目	無機化学, 反応工学, 工業熱力学, 輸送現象, 単位操作の5科目の中から3科目を選択する	
海 洋 土 木 工 学 科	土木系を専攻している志願者 専門教育科目	構造力学, 水理学, 土質力学, 土木材料	
	土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目	数学(注1), 物理(注2)
		小 論 文	土木工学, 海洋工学を学ぶ上で必要な基礎知識, 基礎学力, 学習意欲を評価できる問題
情報生体システム工学科	専門教育科目及び基礎教育科目	プログラム基礎, 計算機工学, 電気回路, 数学(注1)	
化 学 生 命 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	有機化学, 分析化学, 物理化学, 高分子化学, 生物化学の5科目の中から4科目選択	

(注1) 微分, 積分, ベクトル, 行列を中心に出題します。

(注2) 教養課程程度の一般物理を出題します。

☆関数付電卓の使用について

使用することができる学科は以下の通りです。

海洋土木工学科, 化学生命工学科 (各自持参してください。)

環境化学プロセス工学科 (持ち込みはできませんが、検査時に貸与します。)

(3) 面接の方法と評価事項

学 科	面接の形態		面接時間	評 価 事 項
	面接種類	面接員数		
機 械 工 学 科	個人面接	7名	10分	学習意欲、目的意識と適性について評価する。
電 気 電 子 工 学 科		6名		学習意欲と適性について評価する。
建 築 学 科		5名		学習意欲、目的意識、適性について評価する。
環境化学プロセス工学科		5名		基礎学力、学習意欲、目的意識について評価する。
海 洋 土 木 工 学 科		5名		学習意欲、目的意識と適性について評価する。
情報生体システム工学科		5名		勉学意欲、勉学遂行のための能力と知識、コミュニケーション能力と態度について評価する。
化 学 生 命 工 学 科		6名		基礎学力、学習意欲、目的意識と適性などについて評価する。

注) 受験者数などにより「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

5. 学力検査の日時・場所

期 日	学 科	検査項目・科目	時 間	集合時間	場 所	
平成22年 5月26日(木)	機 械 工 学 科	基礎教育科目 数学	9:00~10:30	8:40	工学部 (共通棟入口の掲示板で確認すること)	
		専門教育科目	10:50~12:50			
		面接	14:30~			
	電 気 電 子 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	9:00~12:30			
		面接	13:30~			
	建 築 学 科	建築系を専攻している志願者	専門教育科目			9:00~12:30
			面接			13:30~
		建築系を専攻していない志願者	一般教養科目			9:00~11:30
			小論文			11:40~12:30
	環境化学プロセス工学科	専門教育科目	9:00~11:30			
		面接	13:00~			
	海 洋 土 木 工 学 科	土木系を専攻している志願者	専門教育科目			9:00~12:30
			面接			13:30~
		土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目			9:00~11:00
			小論文			11:10~12:30
	情報生体システム工学科	専門教育科目及び基礎教育科目	9:00~12:30			
		面接	13:30~			
	化 学 生 命 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目	9:00~12:30			
面接		13:30~				

6. 合格発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人宛通知します。（電話・電報等による合否の照会は一切応じません。）

平成22年6月4日(金) 13時30分発表

また、鹿児島大学工学部ホームページ (<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格状況を掲載します。

編入学後の履修について

1. 高等専門学校、大学、理工系短期大学及び専修学校を平成23年3月卒業見込みの方

- (1) 編入学試験時には、提出された高等専門学校、大学、理工系短期大学及び専修学校の現在までに修得している科目の成績証明書により編入学後の卒業要件単位の取得可能性を判断しております。ただし編入学後は、高等専門学校等を卒業するまでに修得した科目の成績に対して、当該学科の卒業要件単位と認定することの可否を改めて判定いたします。

したがって、現在履修中の科目もしっかり勉学に励んで下さい。

- (2) 3年次に編入した後、不足する単位については当該学科でのカリキュラムに従って、卒業要件を満たすように単位を修得しなければなりません。1学期に履修できる単位数は、原則20単位までという上限がありますので、認定された科目（単位）数が極めて少ない場合は、4年次進級に必要な科目（単位）を1年間で履修できないことがあります。

2. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者）

編入学前の既修得単位を単位認定した科目の中で、「教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目」の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則 第66条の7

高等専門学校（第4学年及び第5学年に係る課程に限る）で修得した科目に係る科目で教科に関する科目として適当であると認めた科目

⇒

高等学校教諭普通免許状については10単位を限度

注 意 事 項

1. 出願時の注意

- (1) 入学検定料払込書の入学志願学部、学科、編入学に○印、おところ、おなまえ（フリガナ）、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して下さい。
- (2) 郵便局の窓口で、願書受付期間内に振込にて納付してください。
 - ※ 郵便普通為替証書・現金での納付はできません。
 - ※ ATM（現金自動預入払出機）での振込はできません。
- (3) 振込後【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】（受付局日附印のないものは無効）を所定の台紙に貼付して出願書類に同封してください。また、払込票は各自で保管してください。
- (4) 入学検定料が振込まれない場合、【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】が出願書類に同封されていない場合、【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。
- (5) 既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ① 入学検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。
 - ② 誤って入学検定料を二重に振込んだ場合。
- (6) 出願後の出願書類の返却並びに記載事項の変更は認めません。
- (7) 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (8) 本学の受験に際し宿泊を必要とする場合は、各自で宿舍等の確保をしてください。

2. 受験上の注意

- (1) 受験者は、監督者の許可がなければ検査室に入入りすることができません。
- (2) 受験者は、受験の際に必ず受験票を携行してください。なお、入学手続の際にも必要となるので、大切に保管してください。
- (3) 検査開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は、検査場本部に申し出てください。検査開始後30分を越えて遅刻したときは、その科目等の受験を認めません。
- (4) 鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・小型定規（直線定規）・鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し、検査中に他人の物品を借りたり、共用したり、検査に必要なない物品を持ち込んだりしてはいけません。
- (5) 時計を使用する場合は、計時機能だけのものとします。アラームや時報機能のついた時計は、検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。
- (6) 携帯電話や音の出る機器は、検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。

なお、検査時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し、検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。
- (7) 検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし、検査中に発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。この場合、検査時間の延長は認めません。
- (8) 検査に際して不正行為が認められた受験者については、その検査は無効とし、その後の受験を認めません。
- (9) 試験場の配置等は、試験前日の15時までに工学部掲示板（工学部共通棟入口）に掲示しますので確認しておいてください。ただし、検査棟内への立入りはできません。
- (10) 検査当日は、自動車・バイク等による入構を禁止します。

障害のある入学志願者の事前相談

障害のある等（次表参照）、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

1. 相談の期間

原則として、平成22年4月30日(金)までとします。

※ 相談の内容によっては対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できずに特別措置が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

2. 相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で、次の内容を記載した相談書（様式任意）等を提出してください。

(1) 事前相談書（次の事項等を記載したもの。様式任意）

- ① 志願者の氏名及び生年月日
- ② 志願者の現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- ③ 出身学校
- ④ 志願学科
- ⑤ 障害の種類・程度
- ⑥ 受験上特別な措置を希望する事項
- ⑦ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑧ 出身学校等でとられていた特別措置
- ⑨ 日常生活の状況

(2) 医師の診断書

(3) その他参考書類（障害者手帳の写し等）

3. 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係 [電話] 099-285-3264

入 学 手 続

1. 入学手続期間等

入学手続及びその他必要な事項は、平成23年2月上旬各自へ通知します。

2. 提出書類

宣誓書，在学保証書，卒業（修了）証明書，成績証明書

3. 納付金の納入

(1) 入 学 料		282,000円
(2) 授 業 料	前期分	267,900円
	(年額	535,800円)

※ 入学科，授業料に改定があった場合は，改定後の納付金を納入いただくことになります。

(注意)

- 1) 授業料は，免除申請中の者を除き，本人指定の口座から前期分を平成23年5月27日に，後期分を平成23年10月27日に引き落とします。
- 2) 既納の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。
 - (ア) 入学料を払込んだが，入学手続をしなかった場合
 - (イ) 入学料を誤って二重に払込んだ場合
- 3) 在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。
- 4) 金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合，振込みを行う者（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては，その保護者）の本人確認書類（運転免許証，各種健康保険証，国民年金手帳，パスポート，母子健康手帳，身体障害者手帳，外国人登録証明書等）の提示が必要となりますので，ご注意ください。
- 5) 推薦による選抜で合格した者で，特別な事由により入学を辞退する者は，出身学校長を経由して，具体的な辞退理由を記し，署名・押印した「編入学辞退届」（様式任意）を平成22年7月23日(金)17時までに本学工学部長あてに作成して工学部学生係に提出し，許可された場合に限り入学辞退を認めます。
- 6) 入学手続終了後，都合により入学を辞退する場合，工学部学生係に入学辞退を申し出て，所定の手続きを平成23年3月31日(木)までに行ってください。この場合，入学料を除き，既に納付済みの諸会費等（例：学友会費，同窓会費，学生教育研究災害傷害保険料等）を返還します。

入 試 情 報 開 示

小論文、学力検査等問題の正解・解答例の開示

合格発表後、「正解・解答例」を工学部学生係で開示します。

なお、次の点にご留意ください。

1. 正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答例があり得ます。
2. 正解・解答例に代えて、出題意図を開示する場合があります。

入学者選抜試験個人成績の開示

平成23年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

1. 開示内容

(1) 試験成績

【得点】 学力検査等の個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

【順位】 総合得点による順位を開示します。

(2) 調査書

「各教科・科目等の学習の記録」等について開示します。なお、郵送による開示請求の場合は開示しません。

- ### 2. 開示期間
- 合格発表後2ヶ月間 9時～17時
ただし、土・日曜日、祝祭日を除く

3. 開示請求申込方法

請 求 者 受験者本人に限ります。(代理人の請求は認めない)

開示方法

(1) 工学部学生係で開示します。

「平成23年度鹿児島大学工学部編入学試験受験票」を必ず持参してください。

(2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り

揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書き、
必ず書留郵便で請求してください。ただし、開示期間
中の消印のあるものに限り受け付けます。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 平成23年度鹿児島大学工学部編入学試験受験票
- ③ 返信用封筒(長形3号の封筒に380円分の切手を
貼付し、自分の宛先を明記したもの)

(3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号
鹿児島大学工学部学生係

4. その他

平成22年度以前の個人成績は開示しません。

注：開示請求する選抜方法に○印を付す。



【郵送による場合の様式】

A4用紙

入 試 情 報 開 示 請 求 書

平成 年 月 日

鹿児島大学工学部長 殿

請求者 住所 _____

電話 _____

氏名 _____

選抜の方法

推薦による選抜

学力検査による選抜

受験学科 _____ 学科

受験番号 _____

私の入試成績について、入試情報の開示を
請求します。

編入学試験に関するお問い合わせ先

鹿児島大学工学部学生係

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

T E L 099-285-8232